

事業番号	04 05 02	事業改善シート (30年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	多文化共生推進事業	部局	県民文化部	課・室	国際課	
		実施期間	不明～	E-mail	kokusai@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	2-3 海外との未来志向の連携					

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	<p>○平成28年12月末現在の県内に在住する外国人は31,301人。昨年よりも858人増加している。在留資格の「永住者」が全体の4割を占め、外国籍県民の定住化が進んでいる。</p> <p>○母国の言語、文化、諸制度との違いなどから、外国籍県民が安心して暮らしていく上で、教育、労働をはじめ、様々な課題を抱えている。また、コミュニケーション能力の不足により、就学や進学が困難になるなどの課題が顕在化している。</p> <p>○行政からの一方的な施策だけでなく、外国籍県民自らが主体となり生活上の課題解決を図る活動を支援するなど、当事者を巻き込んだ施策の展開が必要であり、今後、活動の担い手となる外国籍県民キーパーソンの育成、活動の促進、行政との連携を進めていく必要がある。</p> <p>○平成27年3月には、今後の長野県の多文化共生推進の道標となる長野県多文化共生推進指針を策定し、施策を実施している。</p> <p>○出入国管理及び難民認定法が改正され、外国人労働者の受入れが拡大される。本県でも、今後生活する外国人の増加が見込まれ、日本語学習支援体制の充実をはじめとする生活環境の整備を行うことが重要。</p>	30年度 決算額	13,135 千円
	職員数	3.00 人	

目指す姿	<p>国籍や文化の違いを尊重し合い、誰もが参加し、協働して多様性を活かした豊かな地域を創造する。 (長野県多文化共生推進指針 多文化共生社会を実現するための基本目標)</p> <p>日本語学習支援の担い手の育成と資質向上を推進する。</p> <p>(主な実施内容: 多文化共生くらしのサポーター設置、外国籍児童就学支援、外国籍県民の助け合い活動等を担う人材育成 など)</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業	区 分(単位:千円)	29年度	30年度	令和元年度	指標及びその達成状況				
					No	成果指標	29年度	30年度	
予算額	前年度繰越			10,000					
	コスト	当初予算	13,687	13,107	22,092				
補正予算			11,606						
合計(A)		13,687	24,713	32,092					
決算額(B)		13,169	13,135						
概算人件費	職員数(人)	3.00	3.00	3.00					
	概算人件費(C)	24,306	24,654	24,654					
	概算事業費(B(A)+C)	37,475	37,789	56,746					
成果指標設定理由									
	<p>①外国籍県民と地域・行政とのつなぎ役となる者間のネットワーク形成のための集まりへの出席者数 150人(H27～28キーパーソン事業参加者196人・H26～28バイリンガル日本語指導者修了生90人の約半数)</p> <p>②多文化共生くらしのサポーター(母国語相談員)相談件数 5,000件(過去10年平均相談件数4,820件)</p> <p>「自助共助の取組みにつなげる」ネットワークの形成、「外国籍県民の暮らしやすさ」のための相談体制整備を、多文化共生社会実現のための成果指標に設定</p> <p>③日本語学習支援者の養成人数 40人(現在県内63教室あるうちの各教室2人程度養成。3年間で120人程度。)</p>								

備考	
----	--

目標に対する成果の状況	<p>①防災リーダー育成研修及び災害多言語支援センター設置運営訓練については、防災意識の高まりから参加者も多く、訓練にも熱心に参加いただくことができた。(114名)医療シンポジウムについては、医療関係者が参加しやすい方からの開催時間とした。また、会場からも活発に意見があり、アンケート結果でも満足度が高かった。(80名)</p> <p>②相談件数が減少となり、目標達成には至らなかった。</p> <p>③入管法の改正により、今後、外国籍県民の増加が見込まれる報道等を受け、本事業に対する県民の関心が高く、目標を超える学習支援者を養成することができた。</p>
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<p><input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施</p> <p>課題</p> <p>外国籍県民の生活支援(日本語学習)事業の充実及び外国籍県民が地域で活躍できるきっかけとなるような事業の実施。</p> <p>今後の方向性</p> <p>引き続き、外国籍県民の増加が見込まれることから、関係機関や外国籍県民コミュニティと、さらに連携した事業実施が必要。</p>
--------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数(人)	平成30年度		令和元年度(当初)
					(当初)	(決算)	
1		多文化共生推進事業	文化、生活習慣の違いから悩みを抱える外国籍県民等が安心して暮らすことができる県づくりの推進	3.00	13,107	13,135	22,092
1/2				合計	3.00	13,107	22,092

事業改善シート附表

当初要求
 当初予算案
 補正予算案
 点検

事業番号	事業名	多文化共生推進事業			部局	県民文化部	課・室	国際課				
04 05 02												
細事業 No	細事業名	項目	実施 方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施 状況	29年度	30年度				
							当初 （千円）	要求 （千円）	当初 （千円）	補正 （千円）	決算 （千円）	
1	多文化共生推進事業	多文化共生推進事務	直接	国、県、市町村や関係団体が情報交換や意見交換を行い、連携して多文化共生の推進に取り組む	国、県、市町村や関係団体が情報交換や意見交換を行い、連携して多文化共生の推進に取り組んだ。	計画通り ○	436	425	425		496	
1	多文化共生推進事業	多文化共生くらしのサポーター設置事業	負担金	外国籍県民からの生活相談に多言語で対応する母国語相談員（くらしのサポーター）の配置	外国籍県民からの生活相談に多言語（中国語、ポルトガル語、タイ語、タガログ語）で対応する母国語相談員（くらしのサポーター）を配置し、相談業務を実施した。 負担先：多文化共生くらしのサポーター運営委員会	計画通り ○	9,897	9,897	9,897	10,000	9,897	
1	多文化共生推進事業	外国籍児童就学支援プロジェクト推進事業	負担金	経済的に困難な状況にある外国籍児童生徒に対する就学支援、外国籍・外国にルーツを持つ児童生徒に対する日本語教室への支援	経済的に困難な状況にある外国籍児童生徒に対する就学支援、外国籍・外国にルーツを持つ児童生徒に対する日本語教室への支援を実施した。 負担先：（公財）長野県国際化協会	計画通り ○	1,000	1,000	1,000		1,000	
1	多文化共生推進事業	多文化共生のためのキーパーソン育成事業	直接	災害時における県、市町村等関係機関の連携体制強化及び通訳ボランティア等支援人材であるキーパーソンの育成、人材活用を図るためのネットワーク強化	防災リーダー育成研修や災害時防災多言語支援センターの設置運営訓練及び医療通訳について考えるためのシンポジウムを実施した。（研修1回、訓練2回、シンポジウム1回）	計画通り ○	2,354	1,785	1,785		541	
1	多文化共生推進事業	日本語学習支援者養成・研修カリキュラム開発事業	直接	県内在住外国人の日本語コミュニケーション能力の向上を図り社会参加を促進するため、効率的な日本語学習支援を可能とする研修カリキュラム・教材の開発、初期研修・スキルアップ研修の実施等	日本語交流員の果たす役割について検討し、長野県モデルのカリキュラムの作成、教材作成、養成研修を実施した。（日本語交流員養成 56人）	計画通り ○	0	0	0	1,606	1,201	
合 計								13,687	13,107	13,107	11,606	13,135